

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-373-6600

年度	平成27年度		
施設名	重要文化財旧笹川家住宅	所管部・課	南区役所地域課
施設の設置目的	旧笹川家住宅を活用し、味方地区の歴史資料、民俗資料、その他の資料を保存し、及び公開することにより、市民の歴史及び文化に対する認識を深めるとともに、市民文化の向上に資する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H27.6.4
歳入	2,614	正職員		修正日	
歳出	9,987	非常勤	1	評価日	H28.8.1

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標					H27結果
1	市民	ボランティアガイドの充実	現在6名のボランティアガイドを増員する。	12名	12名	12名	15名	11名	専門的知識を有する必要があるガイド業でありながら手弁当て無報酬のため、人材の発掘が難しい。	広報等通じながらガイド希望者を募集していく。	ボランティア登録者が亡くなったため。	C:未達成
2	市民	ボランティアガイドの情報交換の徹底	月1回の情報交換会を行い笹川邸に関する新しい情報の発掘に努める。	9回	10回	10回	12回	10回	ガイド業務中に新しい発見や、情報を得ることがあるので、その知識の共有を行う。		ボランティアの要請が少ない、1月、2月は情報交換会を開催することが出来なかった。	C:未達成
3	市民	入館記念として、笹川邸のマスクotteグッズ”ささたん”(笹団子のミニチュア)を作成し、入館者に贈呈する	入館者に記念品として”ささたん”を1人1個配布する。	8,695人に配布	約4,000人に配布	約5,400人に配布	8,000人に配布	約6,500人に配布	記念品の”ささたん”を媒体に笹川邸のPRも進め、入館者の拡大も図る。	重要文化財旧笹川家住宅邸活性化事業(笹川邸”ヘルティグッズ”配布事業)	入館者が目標数値まで達成できなかったため。	C:未達成
4	業務	防火訓練の実施	国の重要文化財である「笹川邸」の防火対策を強化する。	年2回	年2回	年2回	年2回	年1回	文化財防火デーに伴う消防訓練と併せて初期消火の訓練を行い、初動体制のさらなる強化に努める。	文化財防火デー消防訓練 南消防署の立入検査時の訓練	文化財防火デー当日、暴風雪警報が発令され、訓練の実施が出来なかったため。	C:未達成
5												
6												
7												
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>当施設は、市単独所有の唯一の重要文化財であり、7年の歳月をかけて文政9年(1825)に再建されたもので、敷地面積が14,252.24㎡、すべての施設の延べ床面積が1,869.57㎡もある大庄屋の役宅兼住居であり、その取り扱いには細心の注意が必要な施設として、今後も維持管理を行い、江戸時代の建築物を大勢の人から見てもらう目標で設定した。</p>	<p>口コミによるガイド勧誘・登録の周知を行ってきたが、目標を達成することができなかった。更に、現登録者も高齢化が進み、体調等の問題もあり、継続活動が年々厳しくなりつつある。笹川邸の入館者については目標を大きく下回っているが、平成26年度は500人、平成27年度では1,200の入館者増があり、イベントをはじめとした諸活動の成果が出たものと捉えている。</p> <p>今後は、旧笹川家住宅保存活用計画の提言・報告を受け、それに取り組んでいくとともに、自主事業、関係団体との連携も深め、入館者目標の達成に向けて努力していく。その延長としてボランティア育成の土壌を醸成していく。</p> <p>また、国指定重要文化財の建造物としては市単独の所有でもある笹川邸の価値をPRするとともに、火災による消失や油等による毀損事案が発生しないよう職員一丸となって文化財保護に努めていく。</p>